

12月18日(日) 第6回検討委員会 開催

今回は、寄せられたご意見の内容を確認したうえで、通学安全要望と意見書の素案を検討しました。1月29日(日)に、若葉台全地域を対象に意見書の内容についての説明会を開催します。



通学安全要望について

～ 通学路の点検について ～

PTAから、12月5日(月)に行った通学路の点検についての報告がありました。

各小学校PTAが作成した通学路素案に沿って、通学路案すべてを点検しました。

- ・参加者 : 各校PTA会長、校外委員、南副委員長、事務局(学校計画課職員2人、旭区役所職員2人)
- ・点検時間: 午後4時30分から午後7時まで

点検は、どのルートを通れば交通安全上問題がなく、かつ、児童が比較的まとまって通学できるかを念頭に置きながら行いました。

点検中、外灯のデザインや明るさ、高さ、設置数について問題があることを確認しました。また、自転車歩行者専用道の高木の剪定のほか、低木についても、特に小学校低学年の児童が歩く姿が見えるような高さにする必要があるのではないかとという声もありました。

これらを踏まえて、通学路素案のうち数カ所について、より安全な通学経路を指定できるよう練り直しました。



～ 通学路素案について ～

通学路の点検後に各PTAで練り直した通学路素案について報告がありました。

概ねPTAで作成した素案が基になっていますが、点検後、通学路に関する具体的な案として、保護者からPTAにお寄せいただいたものも踏まえ、今後も検討を加えていきます。

(通学路素案は、安全確保のためニュースには掲載しません。詳細は各校PTAにお問い合わせください。)

中学校は、小学校の通学路に準ずる方向としています。

通学路素案はこの検討委員会で決定し、今後、PTAと学校、地域のパトロールチームとで引き続き検討し、最終決定していきます。

～ 通学安全要望について ～

以上の報告を受けて、次のような意見、要望がありました。

□ 外灯の整備や木の剪定はどのように実施していただけますか。

→意見書の中で強く要望し、教育委員会のバックアップも受けながら旭区に要望するとともに、地域も最大限協力をします。(委員長)

→より具体的な要望を受けて、警察や土木事務所等関係部署と調整していきたい。安全は、ハードとソフトの両方の対応を行う中で確保されるものですので、引き続き地域や保護者の方にご協力いただきたい。(区役所)

□ 木の剪定や外灯の改善は、若葉台全域での整備をお願いしたい。

- 自転車道と歩道の色の塗り直しや、特に柳公園と低層の地区の木々の剪定を要望します。
- 外灯を明るくしても人通りが少ないので、何かあったときに助けを求められるシステムを検討していただきたい。例えば、集会所に緊急ボタンを設置する、あるいは通話できるようなシステムの導入、「子ども110番」のようなものです。
- 意見書で要望する際には、保護者、地域、学校で共に安全確保に向けて努力することを記載すべきだと思います。

意見書について

～ 意見書の本文について ～

内容としては、次のとおりとすることで合意しました。

1 小・中学校の再編計画案

(1) 再編に当たっての考え方

若葉台地区の児童生徒の教育環境の維持・向上と効果的かつ効率的な学校経営を行うため、小規模校化している若葉台地区の3校の小学校及び2校の中学校を再編統合すべきである。

(2) 再編の実施方法

ア 小学校

(ア) 若葉台東小学校、若葉台北小学校及び若葉台西小学校の3小学校を1校にすることが適当である。

(イ) 再編統合後に使用する学校施設は、現在の若葉台北小学校が適当である。

(ウ) 再編統合の実施時期は平成19年4月が適当である。

イ 中学校

(ア) 若葉台東中学校及び若葉台西中学校の2中学校を1校に再編統合することが適当である。

(イ) 再編統合後に使用する学校施設は、現在の若葉台東中学校が適当である。

(ウ) 再編統合の実施時期は平成19年4月が適当である。

ウ その他

再編統合校について、新たにスタートする学校としてふさわしい教育環境を確保するという観点から、必要な施設環境整備の配慮をされたい。

2 教育内容に関する要望

(1) 5校はこれまでも学校行事や授業において交流を深めているが、再編統合に向け、「新しい学校を創造する」という考え方のもと、さらに交流事業を推進していただくとともに、5校で協力して新校の教育目標の設定等を進め、再編統合校への円滑な移行を促進していただきたい。

また、時宜に応じてその経過を地域に公開していただきたい。

(2) 検討委員会では、これまでの5校の教育的成果と伝統を引継ぎながら、「基礎・基本の習得」や「小中一貫教育」、「近隣の高校との連携」などに期待する意見があった。再編統合校では、若葉台5校が応募した「パイオニアスクールよこはま」の内容に基づき、5校の教育関係者が地域の期待やニーズも踏まえて、教育内容の充実に取り組むとともに、教育委員会も教職員の配置など、十分な支援を行うよう配慮されたい。地域としても、引き続き協力していきたい。

3 通学区域変更案

(1) 小学校

現在の若葉台東小学校、若葉台北小学校及び若葉台西小学校の通学区域を一体として再編統合校の通学区域とすることが適当である。

(2) 中学校

現在の若葉台東中学校及び若葉台西中学校の通学区域を一体として再編統合校の通学区域とすることが適当である。現在若葉台東中学校と都岡中学校を選択できる特別調整通学区域の設定がされている上川井町の一部については、引き続き再編統合中学校と都岡中学校との特別調整通学区域とすることが望ましい。

(3) 他地域からの児童生徒の受入について

若葉台地区は今後も児童生徒数が減少傾向にあるため、他地域からの児童生徒の受入を前提に、

通学区域特認校制度の活用など検討していきたい。市においても、今後時宜に応じて通学区域の変更等検討されたい。

4 統合校の学校名

統合校の名称は、小学校は「若葉台小学校」、中学校は「若葉台中学校」とすることが適当である。

5 通学安全要望

今回、各小中学校のPTAが中心となり現地を確認したうえで、検討委員会として「若葉台小学校」の通学路の素案を決定した。

若葉台地区は、自転車歩行者専用道路が計画的に整備され、他地区に比較すると交通安全上の配慮があるまちづくりが見られるものの、昨今の社会情勢からは、防犯・不審者対策等多面的な視点で児童生徒の通学安全を確保する必要があると考えている。そのため、自転車歩行者専用道路の樹木の剪定及び外灯の改善が必要と考えているので、今後、この通学路の素案をもとに、統合後の通学区域の児童生徒の登下校を想定し、3小学校及び2中学校の学校関係者や地域の代表により、通学上の安全について引き続き検討していきたい。詳細な要望は、旭区役所土木事務所、警察等の関係機関に申し入れを行うが、その際には、再編統合という事情も配慮し、教育委員会、区役所等横浜市関係機関は、最大限の協力を願いたい。

6 統合により生じる土地・建物の活用に関する要望

検討委員会が出された要望は、別に記載するが、跡活用施設の選定や運営等含めた詳細については、今後、改めて地域で「跡地活用検討委員会（仮称）」を設け、検討したい。その際は、必要に応じ区役所及び市関係部局の協力をいただきたい。

7 その他小規模校再編及び通学区域に関する要望

新たな「若葉台小学校」と「若葉台中学校」は、これまで5校が築いた歴史を尊重し、できる限りこれを保存・記録されたい。加えて地域と共に歩む新たな歴史を築いていくことにより、地域住民や卒業生すべてが「故郷」と感じられるような、開かれた学校づくりを推進されたい。

～ 跡地活用要望事項について ～

跡地活用については、この検討委員会終了後別途検討の場を設けることとする方向ですが、この検討委員会として、次のような機能について要望をしたいと考えています。

- 若葉台東小学校に設置されているコミュニティハウスの存続
- 若葉台東小学校、若葉台北小学校、若葉台西小学校における地域防災拠点の維持・継続
- 若葉台東小学校及び若葉台西小学校の医療救護拠点、広域避難場所機材庫の存続
- 現在行われている学校開放事業の新展開の検討
- 子育て、障害児者、高齢者、福祉ボランティア等が活動し、協働する施設の設置
- スポーツ文化村の事務所機能の設置のほか、グラウンド・体育館の利用
- 校章や校旗など各校の歴史を保存するスペースの設置
- 演奏会などが開催できる多目的ホールの設置

寄せられたご意見・ご質問について

～ 事務局に寄せられたご意見・ご質問 ～

第6回検討委員会開催後、今回の検討委員会開催までに、15人の方からご意見・ご質問が寄せられました。内容別件数及びご意見の趣旨は次のとおりです。

委員会機能・運営に関するもの		1件
検討内容に関するもの	再編統合に関すること	2件
	再編統合の実施時期	3件
	再編統合校の設置場所	8件
	通学安全	2件
	跡利用に関すること	1件
	検討スケジュール	1件
その他要望		2件



※ 同一の方から複数回にわたるご意見や複数の内容にわたるご意見があるため、人数と一致しません。

検討内容に関するご意見の趣旨

※()内は件数

再編統合に関すること	通学安全及び学校が廃止され廃墟となることにより治安が悪くなる可能性があることに不安なため、再編には反対(1)、子供の健全な育成のため、再編統合に賛成(1)
再編統合の実施時期	小規模校ゆえの現状に危機感を感じるため、少しでも早期の再編統合を望む(1)、同様の理由により、平成19年4月の再編統合に賛成(1)、生徒数が減少し、増築なしで統合できる時点での統合を望む(1)
再編統合の設置場所	西小・西中を合体して小学校として使用する提案(2)、中学校を東中に、西中の校舎を西小として使用する提案(1)、今後も児童数が減少傾向にあるのに増築をすることには疑問があり、かつ小中一貫教育の実施のためには西小・西中の設置が最適である(1)、西小の増築可能性の提案とこれにより統合場所を今一度見直すべき(1)、西小・西中の存続を希望(1)、西小の存続を希望(1)、これまでの検討結果から、北小・東中に再編統合校を設置することに賛成(1)
通学安全	通学路の確保と安全の確保への配慮を望む(1)、広島では通学路から外れた箇所ですべての事件が起きており、通学路の設定は役に立たない(1)
跡利用に関すること	西小・西中の跡地利用の確定(公的利用の確約)と迅速な着工を望む(1)
検討スケジュール	再編をなぜ急ぐのか。納得のいく説明がほしい。意見が反映されぬまま決定することは理解できない。(1)

～ PTAに寄せられたご意見 ～

各小学校PTAから、寄せられた意見など、現在の状況についての報告がありました。

* 若葉台東小から *

個人面談開催期間中に、PTA会議室に通学路素案を掲示したうえで待機したところ、3人の方の訪問がありました。ご意見は、はまっこや学童、自校炊飯、集団登下校の今後についてでした。

* 若葉台北小から *

今のところ特に意見は寄せられていませんが、通学安全の確保に向け、PTAとしてできることを検討していきたいと思えます。

* 若葉台西小から *

個人面談開催期間を利用して12月12日～16日にPTA会議室で待機したところ、未就学児を持つ保護者の方を含め18人の方の訪問がありました。主なご意見の内容は、これまでに事務局に寄せられた内容と同様のものほか、通学安全面での不安やスクールバス運行要望、外灯増設や木の剪定要望、再編統合校設置場所の再検討要望、意思決定する前の保護者の意向調査要望などでした。

※紙面の都合上、すべての詳細なご意見は掲載しませんので、ご了承ください。

今回の検討委員会でも、寄せられたご意見の内容すべてを確認したうえで、意見書の素案骨子について検討しています。

改めて開催案内はいたしません。

若葉台にお住まいの皆様を対象に、「説明会」を開催します。
10月10日に行った報告会後からこれまでの検討委員会での検討状況を説明します。
日時：平成18年1月29日（日）午前10時から12時まで 場所：若葉台西中学校体育館

※ 次回の検討委員会は、説明会開催後、実施します。

若葉台地区小・中学校再編検討委員会の経過、横浜市の基本方針等は

ホームページでもご覧いただけます。

- ・基本方針など：<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/gakku.html>
- ・若葉台地区小・中学校再編検討委員会：

<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/shoukibo/index.html>

若葉台地区小・中学校再編検討委員会は、常に皆さまからのご意見をいただいております。
FAXかEメールにて、事務局までご連絡ください。

* 若葉台地区小・中学校校再編検討委員会事務局 *

横浜市教育委員会事務局 学校計画課 FAX：045-651-1417

Eメール：ky-wakabadai@city.yokohama.jp

電話：045-671-3252

